



## 2023年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月13日  
東

上場会社名 株式会社Branding Engineer 上場取引所  
コード番号 7352 URL <https://b-engineer.co.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)河端 保志  
問合せ先責任者 (役職名)上級執行役員 (氏名)加藤 真 (TEL)03(6416)0057  
四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年8月期第1四半期の連結業績(2022年9月1日~2022年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	2,241	61.2	49	140.0	48	143.1	29	324.3
2022年8月期第1四半期	1,390	—	20	—	19	—	6	—

(注) 包括利益 2023年8月期第1四半期 29百万円 ( 324.3%) 2022年8月期第1四半期 6百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年8月期第1四半期	1.39		1.36	
2022年8月期第1四半期	0.33		0.30	

(注) 当社は、2021年11月1日開催の取締役会の決議に基づき、2021年12月8日付で普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。また、2022年7月28日開催の取締役会の決議に基づき、2022年9月1日付で普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。2022年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	2,562	29.2	754	29.2		
2022年8月期	2,511	29.2	736	29.2		

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 748百万円 2022年8月期 732百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00	
2023年8月期	—					
2023年8月期(予想)		0.00	—	1.00	1.00	

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2022年9月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年8月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2023年8月期(予想)の配当金については、当該株式分割後の配当金の額を記載しております。

### 3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

（%表示は対前期）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,029	31.4	254	30.1	246	23.4	168	25.2	4.05

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2022年9月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、当該株式分割後の株式数により1株当たり当期純利益を算定しております。

#### ※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年8月期1Q	20,978,880株	2022年8月期1Q	20,779,360株
2023年8月期1Q	172株	2022年8月期1Q	172株
2023年8月期1Q	20,958,312株	2022年8月期1Q	20,776,558株

（注）当社は、2021年11月1日開催の取締役会の決議に基づき、2021年12月8日付で普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。また、2022年7月28日開催の取締役会の決議に基づき、2022年9月1日付で普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。2022年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2023年1月13日（金）にライブ配信による決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料につきましては、開催後当社ウェブサイト（<https://b-engineer.co.jp/>）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する各種政策の効果や経済活動の段階的な再開により景気回復の兆しが見えつつあるものの、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化による資源価格や物価の高騰の懸念等、景気の先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、国内の人材市場については緩やかな回復が続いており、厚生労働省調査による2022年11月の有効求人倍率が前年同月比で0.2ポイント上昇し、1.35倍となりました。（※2021年11月は1.15倍）

当社の事業領域と関連の高いIT市場におきましては、デジタルトランスフォーメーションへの投資案件も増加基調は続いており、ITエンジニアに対する企業の採用意欲は依然として高い水準にあることから、デジタルシフトを進める企業にITエンジニアを提供する当社の役割は、より重要なものになると認識しております。

このような事業環境下におきまして、当社は企業のデジタル化を推進すべく、企業に対しITエンジニアリソースの提供を行うとともに、ITエンジニアの独立支援を行うMidworks事業の拡大に注力いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,241,555千円（前年同期比61.2%増）、営業利益49,225千円（前年同期比140.0%増）、経常利益48,473千円（前年同期比143.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は29,150千円（前年同期比324.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、2,562,996千円となり、前連結会計年度末に比べ51,616千円増加いたしました。これは主に、売掛金が109,942千円増加、普通預金が98,395千円減少したことによるものであります。

負債は、1,808,985千円となり、前連結会計年度末に比べ34,523千円増加いたしました。これは主に買掛金が42,286千円、1年内返済予定の長期借入金が43,257千円、未払法人税等が51,660千円減少したことによるものであります。

純資産は、754,010千円となり、前連結会計年度末に比べ17,093千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が7,062千円増加、資本金及び資本準備金がそれぞれ4,628千円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の業績予想につきましては、2022年10月14日付けの「2022年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症が、当社の事業及び業績に与える影響は軽微です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	874,711	778,445
売掛金	1,013,652	1,123,595
その他	63,061	74,390
貸倒引当金	△4,062	△3,361
流動資産合計	1,947,363	1,973,069
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	52,388	50,162
その他（純額）	10,316	8,999
有形固定資産合計	62,705	59,162
無形固定資産		
のれん	287,487	306,588
その他	53,092	60,795
無形固定資産合計	340,580	367,384
投資その他の資産		
投資有価証券	76,888	76,888
敷金及び保証金	61,958	72,490
繰延税金資産	18,878	12,358
その他	15,448	14,182
貸倒引当金	△14,764	△14,164
投資その他の資産合計	158,408	161,754
固定資産合計	561,693	588,301
繰延資産	2,321	1,625
資産合計	2,511,379	2,562,996

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	517,039	559,325
1年内返済予定の長期借入金	172,457	215,714
未払金	221,669	247,749
未払法人税等	66,790	15,130
その他	149,642	140,503
流動負債合計	1,127,598	1,178,422
固定負債		
長期借入金	646,864	630,563
固定負債合計	646,864	630,563
負債合計	1,774,462	1,808,985
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	139,589	144,217
資本剰余金	139,489	144,117
利益剰余金	453,554	460,617
自己株式	△69	△69
株主資本合計	732,563	748,882
新株予約権	4,352	5,127
純資産合計	736,916	754,010
負債純資産合計	2,511,379	2,562,996

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2022年11月30日)
売上高	1,390,363	2,241,555
売上原価	969,186	1,645,833
売上総利益	421,176	595,721
販売費及び一般管理費	400,663	546,496
営業利益	20,512	49,225
営業外収益		
受取手数料	459	701
その他	5	254
営業外収益合計	465	955
営業外費用		
支払利息	402	945
株式交付費償却	633	633
その他	-	129
営業外費用合計	1,035	1,707
経常利益	19,942	48,473
税金等調整前四半期純利益	19,942	48,473
法人税、住民税及び事業税	8,582	12,802
法人税等調整額	4,489	6,519
法人税等合計	13,072	19,322
四半期純利益	6,869	29,150
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,869	29,150

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	6,869	29,150
四半期包括利益	6,869	29,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,869	29,150
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	エンジニア プラットフォーム サービス	マーケティング プラットフォーム サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,196,468	192,814	1,389,282	1,080	1,390,363
外部顧客への売上高	1,196,468	192,814	1,389,282	1,080	1,390,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,196,468	192,814	1,389,282	1,080	1,390,363
セグメント利益又は損失 (△)	129,582	35,061	164,643	△12,761	151,881

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問介護事業、投資用不動産販売事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	164,643
「その他」の区分の損失(△)	△12,761
調整額	2,115
全社費用(注)	△133,484
四半期連結損益計算書の営業利益	20,512

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	エンジニア プラットフォーム サービス	マーケティング プラットフォーム サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,057,042	183,603	2,240,645	909	2,241,555
外部顧客への売上高	2,057,042	183,603	2,240,645	909	2,241,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,057,042	183,603	2,240,645	909	2,241,555
セグメント利益又は損失 (△)	203,442	30,914	234,356	△1,203	233,153

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資用不動産販売事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	234,356
「その他」の区分の損失(△)	△1,203
調整額	△1
全社費用(注)	△183,926
四半期連結損益計算書の営業利益	49,225

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「エンジニアプラットフォームサービス」セグメントにおいて、株式会社DePropの全株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、当第1四半期連結累計期間においてのれんが29,491千円増加しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2022年10月28日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社Care Technology及び株式会社X Investorsを、定時株主総会での承認を条件として吸収合併することを決議し、2022年11月28日開催の当社定時株主総会において承認可決されたため、当該吸収合併を2023年1月1日に実施いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

(存続会社)

名称 株式会社Branding Engineer

事業の内容 ITを活用したサービス事業

(消滅会社)

名称 株式会社Care Technology

事業の内容 訪問介護事業

名称 株式会社X Investors

事業の内容 投資用不動産販売事業

(2)企業結合日

2023年1月1日

(3)企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、株式会社Care Technology及び株式会社X Investorsを消滅会社とする吸収合併

(4)引継資産・負債の状況

当社は、本吸収合併契約の内容に従って本吸収合併対象事業に関する資産、負債、契約その他の権利義務を承継します。

(5)本吸収合併に係る割当ての内容

本吸収合併に際して、新株の発行及び金銭等の割当ては行われません。

(6)結合後の企業の名称

株式会社Branding Engineer

本吸収合併後の当社の名称、資本金、事業内容に変更はありません。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理する予定です。

3. その他

該当事項はありません。